

1 2月定例教育委員会 会議録

1、開催日時 令和4年12月22日（木）午後1時30分から午後3時02分

2、開催場所 市役所2階 第一会議室

3、出席委員の氏名

教育長 小林 正人

職務代理者 三枝 泰子

委員 小俣 和英、小笠原 幸夫、村上 憲司

委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐

4、教育長開会宣言

5、会期の決定

6、今回会議録署名委員

小俣和英委員、小笠原 幸夫委員が指名される。

7、前回の会議録の承認

職員が11月定例会会議録を朗読し承認される。

8、報告

①教育長報告

令和4年11月20日から令和4年12月20日までの教育長活動が報告された。

小笠原委員

臨時校長会において、ハラスメントに関するアンケート結果について報告されたとのことだが、どのような経緯でアンケートを行うことになったのですか。

学校教育課長

労働施策総合推進法（通称パワハラ防止法）により、学校設置者である教育委員会にハラスメント対策が義務付けられたことに伴い実施したものととなります。アンケートは市内小中学校の教職員を対象としており、約220名より回答があり、教育長から報告があったとおり、他の事業者を対象に行ったアンケートに比べて、自由記載欄に記載されている方が多いなど、問題となり得る回答が確認されたことから、臨時校長会を招集し、アンケート結果の報告とハラスメントへの対策を行うよう指示いたしました。なお、今回の調査は過去3年間の状況を尋ねたことから、通常よりもハラスメントの訴えが多かったことが考えられると、アンケートの集計を行った業者から言われております。

小笠原委員

ハラスメントは、管理職から部下に対するものが、多く報告されているのですか。

学校教育課長

管理職から部下に対するものだけでなく、同僚同士のものも報告されています。

小笠原委員

ストレスの多い職場環境に教職員が置かれた場合、子どもたちにも影響が出るなどの悪循環に繋がる恐れがあり、早急な対応が必要である。

小林教育長

教育委員会として、アンケート結果を受け、校長を緊急に招集し、注意喚起を行うとともに、今後、ハラスメントが起きないように対応策を講じるよう指示いたしました。なお、ハラスメントに関する専門業者による相談会を今月中に開催することとしております。また、電話相談も可能となっております。なお、今回のアンケート結果については、専門業者が全て集計・分析しており、だれがどのように回答したのかといったことは、教育委員会でも把握できないようになっております。

小笠原委員

相談だけで終わってしまうと解決には繋がらないと思うが、その後はどのような対応となるのか。

小林教育長

相談会に参加する方の名前は伏せられており、今後をご本人の了承を得ての対応となります。

三枝委員

専門業者が対応するとのことですが、全国的に展開している業者ですか。

学校教育課長

県内の業者となりますが、学校現場だけでなく様々な現場の対応を行っており、都留市役所も支援を受けている業者となります。また、アンケートの実施前に、市内全小中学校でハラスメントに関する研修会を開催しており、今後も継続して研修会等を行っていく予定であります。

三枝委員

風通しの良い職場づくりを進めていかなくは、子ども達に良い教育ができないため、しっかりと対策を行っていただきたい。

②指定校変更及び区域外就学について

指定校変更5件、区域外就学2件について、承認を行った事務処理について報告された。

9、議事

議第14号 令和4年度全国学力・学習状況調査について

【説明】学校教育課長

令和4年4月19日に実施された全国学力・学習状況調査の結果の報告となります。

市内全小中学校の小学6年生232名、中学3年生249名を対象に実施され、

対象教科は小学校が国語、算数、理科、中学校が国語、数学、理科の3教科です。その結果の分析については、「学力定着・向上検討委員会」で行い、12月7日に委員会より報告書の提出を受けました。

この結果の公表につきましては、平成26年度に校長会及び教育会等との意見を聴く中で、検討委員会からの報告書に基づき、点数の公表はせずに、文言による公表を行ってきました。「県・国平均正答率と比較し、やや下回った、上回った」等があります。また、学習状況が成績にも関係していることから、合わせて学習状況調査（質問紙調査）についても公表しております。

以下、会議資料に基づき説明。

ダイジェスト版の報告書を各家庭に配布することで、家庭学習の状況が少しでも改善され、学力向上に繋がることを期待しております。本年もこのような形で学校を通じて保護者に配布するかたちで、公表する予定ですので、ご協議をお願いいたします。

小林教育長

議第14号令和4年度全国学力・学習状況調査について、何かご意見、ご質問等ございますか。

小笠原委員

この結果について、調査報告書を作成して終了では無く、どのような対策を行うかが大切である。来年度からではなく、点数が出た時点で、各校管理職が全国を上回っていない事態について、改善策を考え実施していく必要がある。

小林教育長

現在では、学力向上支援スタッフや市費負担教員など多くの人材を学校現場に配置し、その成果が問われることとなります。報告書を作成することが委員会の目的では無く、学力向上に向け、どのような対応を行うのかを協議する必要性について、報告会の際にも伝えております。今年度中には、教育委員、教育研修センター等に

よる協議の場を設けるよう指示しておりますので、委員の皆様もご参加をお願いします。

小俣委員

学校訪問を行った際、学校に関する評価について、保護者が低く、教員が高いという結果であり、ギャップが大きいことが非常に気になり、そのギャップについて分析する必要性を指摘した。学校現場が非常に忙しいのは充分承知しているが、優先順位を決めて対応を行っていただきたい。

小林教育長

一部の学校では、教員OBによる学習ボランティア活動が行われていると聞いている。学力向上のためには、学習に遅れがあり、塾にも行けない子どもたちを地域でどのようにフォローしていくのか考えていく必要があると考えております。地域全体で子どもたちを支えていくことは、コミュニティ・スクールの取り組みにも繋がるものとも考えております。

村上委員

本市の小中学生のゲーム時間が長く、家庭学習の時間が充分に取れていないということは、何年も前から続いている。結果が公表されてから12月までかけて毎年同じような項目をチェックしている印象であり、ポイントを絞って考えていく必要がある。教育長がおっしゃる協議する場については、是非設けていただきたい。なお、保護者に配布するダイジェスト版については、最終ページにある「保護者の皆様にお伝えしたいこと」を前面に持って行った方が、良いと思うので検討されたい。

小林教育長

それでは、保護者に配布する報告書については、委員会事務局において再検討の

上、配布させていただくことといたします。

10、その他

【説明】 学校教育課長

(1) 令和4年12月市議会定例会代表質問について

【説明】 教育次長

(2) 市指定文化財（円通院山門）火災状況について

【説明】 生涯学習課長補佐

(3) 「あすチャレスクール」 パラスポーツ体験型授業実施概要について

【 了 知 】

11、教育長閉会宣言